

北海道教区「御同朋の社会をめざす運動」(実践運動)



第226号

発行所
札幌市中央区北3条西19丁目
(郵便番号 060-0003)
北海道教区教務所
電話 011-611-9623
編集 北海道教区教務所
発行人 黒田 正宜

北海道教区 重点プロジェクト	災害支援 (東日本大震災をはじめとする被災者の支援)
達成目標	「被災地の声を聞く」
	①念仏者としてわが身を振り返り、お育てをいただく。 ②東日本大震災の被災者に対して、物資の支援・心の支援を行う。
2012年度 目標	〈1〉各寺・各団体に「ボランティア支援金」を依頼。
	〈2〉活動事例(宗派内外)をリストアップしての『事例集』作成
	〈3〉教区役職者等の現地視察を実施(課題の共有)

去る十月十三日(木)、「第二回御同朋の社会をめざす運動」(実践運動)北海道教区委員会が開催され、教区における重点プロジェクト(案)について協議が行われ、常任委員会の提案通り承認されました。

新たな「御同朋の社会をめざす運動」の体制は、「宗門を構成する一人一人が実践していく運動」そのものであります。社会との関わりを持って「人びとの苦悩に応える教団」を再構築していかなければなりません。

この度「御同朋の社会をめざす運動」北海道教区委員会では、二〇一二(平成二十四)年度からの三年間の「重点プロジェクト」を「災害支援」とし、東日本大震災をはじめとする被災者への支援を十六組・三四二ヶ寺・各教化団体・各

種団体あげて行うこととしました。大震災をはじめとする自然災害や原子力発電所の事故等によって、一年半経った今でも、被災者は大きな苦しみの中にあり、また多くの課題が山積しています。

北海道教区内の有志の方々は、震災直後から現地に赴き被災者支援に努められました。また、教区内においても多くの方々が義援金・支援金を募り、あるいは被災地の方々の受け入れをするなど、積極的な取り組みを進めてこられました。

しかし、二年近くの時間が経過した現在、被災地の方々の苦悩は、少しずつではありますが忘却され風化しつつあると言わざるを得ません。

今こそ、私たち北海道教区は、仏教徒として念仏者として継続的な支援を行い、「重点プロジェクト」に掲げて具体的な災害支援を推進していかなければなりません。被災者をはじめ、多くの人たちとの

「縁をつないでいくことにより、宗門総合テーマ「結ぶ絆から、広がるご縁へ」の実現をめざしていきたいと思えます。

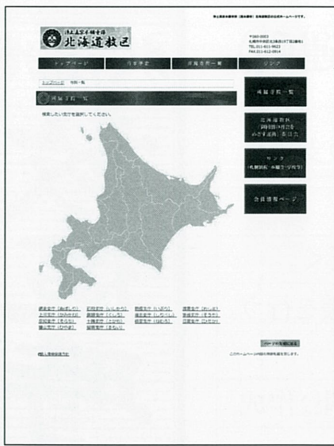
推進計画として今年度から【PLAN】(計画)、【DO】(実行)、【SEE】(点検)の三ヶ年度とし、また教区と組が、各種教化団体と連携しながら運動を展開していくことが重要となりますので、二月前後に計画の概要をお伝えする「推進協議会」の開催を予定しています。

また、教区経常部門ではこれまでの基幹運動の成果や教区の実情を踏まえて運動の推進を計り「差別学習プログラム五ヶ年計画」の完遂と、教区の課題整理のためのアンケートを全寺院(任職・寺族・門信徒)宛に調査・とりまとめるとともに、実践運動を推進する新たな人材育成をめざした組織作りを常任委員会が行うこととしております。

何卒ご協力をお願いいたします。

北海道教区ホームページ完成

この度、教区内の皆様からお声が挙がっておりました、北海道教区のホームページ(http://hokkaidokyomusho.jp)が完成いたしました。・新着情報・行事予定・教区内寺院一覧・「御同朋の社会をめざす運動」委員会・リンク・会員情報のページを掲載しております。是非、一度ご覧下さいませようようお願い申し上げます。



第一ブロック仏教青年連盟連絡協議会

九月一日(土)～二日(日)に教化センター札幌別院におきまして、第一ブロック仏教青年連盟連絡協議会(上坂由香利委員長)が開催されました。

この協議会ではブロック内(東北、東京、長野、新潟、国府)の仏青の委員長・中央委員が集まり各教区の活動報告が行われました。各教区門徒の会員が少ない中、様々な活動を行っており、北海道教区の会員の方々も活発な意見交換を行って行きました。次の日には第一ブロックの仏青指導講師であります、岩佐准光氏(東京教区正行寺)に全国大会についてお話しただきました。

本年度は北海道が担当教区であり、平成二五年二月九日(土)～十日(日)には、後志組東林寺を会場として、ブロックの研修会も行います。仏青に興味のある方は僧侶・門徒関わらずご参加いただけますので、参加奨励の方宜しくお願いたします。

「公聴会」を開催

九月十四日(金)午後一時より、教化センター札幌別院にて、四月より改定されました宗門基本法規施行に伴う、宗務組織機構の説明と、「御同朋の社会をめざす運動」(実践運動)重点プロジェクトの策定の意見交換を企図した「公聴会」が開催されました。宗派より、総長、副総務を始めとする七名が、また、北海道教区より教区会議長、組長会代表者を始めとする約七十名が出席いたしました。新法規施行に伴う宗務組織機構は、統合企画室中尾史峰室長より、宗務組織図をもとに説明。また、重点プロジェクトは寺井紹道北海道教区教務所長より説明がありました。その後の質疑応答での教区出席者よりの主な意見は次の通りです。

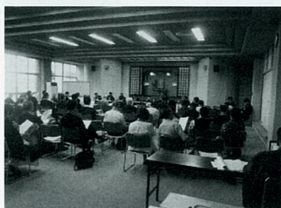
・重点プロジェクトは、どのような論議がされ、どのように策定されたのか。策定前の段階において宗門内に情報提供し、その上で多く意見を取り入れてほしい。
・宗門の運動は「報謝行」であると認識している。しかし、重点プロジェクトはその押さえにぶ

れがあるように感じる。
・総合テーマのイラストについて、組や寺院において活用できるような環境を整えてほしい。

・同朋運動は継続されるのか。基幹運動の成果と課題を引き継ぐ運動であることから、同朋運動について継続して取り組んでほしい。

・重点プロジェクト基本計画は、宗会で協議されたのか。
質疑応答終了後、北海道教区重点プロジェクトを参加者へご説明させて頂きました。最後に「まとめ」を橋正信総長よりお話しいただき、滞りなく、「公聴会」が終了いたしました。

この「公聴会」を起点とし、今後の教区実践運動の推進の為、皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。



第三十六回全国寺族青年軟式野球大会開催

九月二十六日～二十七日京都府宇治市にて「第三十六回全国寺族青年軟式野球大会」が開催されました。今大会は、北海道教区より数年ぶりに二チームが出場。大会は、先ず、新門様ご臨席のもと開会式が行われ、Aチームは山城総合運動公園にて開会式終了後の第1試合で宮崎教区『オーシャンズ』と対戦。

試合は、Aチームの打線が初回から相手投手をとらえ先制すると、その後も打者一巡となる猛



攻を見せ、終わってみれば二十対〇の圧勝で久々の初戦勝利となった。

Bチームは、府立府民スポーツ広場にて京都教区『京都ベースボールクラブ48』と対戦。Bチームが幸先良く先制するが、その後逆転を許し、健闘むなしく二対六で初戦敗退となった。

Aチームの二回戦は、前々回大会で敗退した福岡教区『早良組チキンズ』と対戦。前回敗退のりベンジを晴らすべく試合に臨んだが、相手に先制、追加点を許す厳しい展開。

試合中盤、Aチームの打線が相手投手をとらえ、ヒットと盗塁でチャンスを広げ、タイムリーヒットで一点を返し、更に四番のホームランで1点差に詰め寄ったが、あと一歩及ばず三対四で敗戦となった。

大会は、大分教区『赤色赤光』が昨年に続き二連覇を飾った。大会の最終成績は、次のの通りとなった。

- 優勝：大分教区 赤色赤光
- 準優勝：熊本教区 アミタ
- 三位：大阪教区 阿修羅

四位：富山教区 富山本願寺
クレシヤース
尚、北海道教区寺族野球部では、部員を募集中。野球経験の有無にかかわらず、野球が好きで来年は是非参加したいと言う方は、教務所（担当：天野）までご連絡ください。

「若手寺族婦人のつどい」を開催

去る十月二十七日(土)に、北海道教区寺族婦人会連盟(金龍諒子会長)主旨による「第五回教区若手寺族婦人のつどい」が開催されました。

この集いは、教区寺族婦人会連盟計画に基づき、北海道に在住する若手の寺族婦人の「浄土真宗の教えの基本について学ぶ場を提供して欲しい」という要望に依って、



かかわらず、野球が好きで来年は是非参加したいと言う方は、教務所（担当：天野）までご連絡ください。

年一回開催しています。平素、子育てに等に忙しくされておられる方々に集っていただくことを目的に、子ども同伴が可能な研修会とするために、連盟役員が研修中「預かり所」を設置してお世話をした、茶話会では十勝スイーツをいただきながら交流する時間を設けています。

今年の研修会は、講師に佐々木墨氏（後志組照覚寺住職、教区布教団役員）を迎え、「君と僕」の命のつながり」と題して法話をいただきました。また、北海道教区「重点プロジェクト」が災害支援に決定したことを受け、早速寺族婦人としてできることは何かを考えるために、地震発生後から多く支援活動に従事されている、加藤泰和氏（根室組本覺寺衆徒）を迎え、現状と支援のアドバイスをいただきました。参加者は、真剣な眼差しで質疑応答を交えながら研鑽に励みました。

今年度も、ブロック総代会 総会・研修会が各ブロックにて開催

Aブロックは、七月十(火)～十一日(水)に札幌センチュリーロイヤルホテルを会場に札幌組主管のもと開催され、講師に東京教区千葉組光明寺住職で宗会議員の石上智康氏を迎え、『いきてゆく救われてゆく』と『親鸞聖人七百五十回大遠忌法要御満座を機縁として「新たな始まり」を期する消息』をいただいたと題して講演いただいた。



講師は、人間の持つ欲、自然についてご消息と自身の著書をもとにやさしくお話されるとともに、改正された宗法、宗規に示されている、門徒総代の責務についてもふれ、寺院の護持発展に努めることの自覚を持つことの大切さを訴えられた。



Bブロックは、十月三十一日(水)～十一月一日(木)に富良野市ホテルベルヒルズを会場に上川南組主管のもと開催された。講師に遺品整理会社キーパーズ代表取締役の吉田太一氏を迎え、「遺品整理の現場から学ぶ」と題し講演をいただいた。講師は、『遺品整理は、自分の生き方を見直すきっかけとなり、悲惨な現場を見てきたからこそ、伝えたいことがある。本当の一人にはならないでほしい。気にかけてくれる人付き合



いを普段から行い、人との繋がりを大切に生きていただき、どう生きるかを考えることを大事していただきたい。』とお話された。

その後、講師、教区総代会会長、教務所長がパネリストとなるパネルディスカッションでは、人口過多であるが人間関係の希薄さが感じられる東京での仕事の多さについてや、地域による安否確認の重要性（繋がりの大切さ）、寺院へ期待されることとして、宗教者は葬儀等における宗教儀礼をしつかりと行うべきなど、意見が出された。

二日目には、まず参加者がコミュニケーションを図りながらのゲーム形式による班分けを行い、十班に分かれ話し合いを行った。話し合い終了後の班別発表では、各班より「寺院の中でも一人住まいの人に対しコミュニケーションを取っていく」「最近、近所の子どもでも挨拶がない。まず私たちが挨拶される人間になり、繋がりを作っていく」「家族のあり方。一緒に生活の中で当たり前の我慢をしていく」「寺の護持の不安」「寺院での葬儀の重要性」「寺と総代の関係性は、住職側と総代側では求めているものが違うのでは」「多くの人との繋がりを確認するため家系図を作る」「寺に集え、各年代が楽しめる寺造り」「お寺も門徒を家族として迎えてほしい」「お寺にまた来てねと声掛け

する重要性」等の意見が出された。Cブロックでは、十月二十五日（木）～二十六日（金）に十勝川温泉ホテル大平原を会場に十勝組



主管のもと、講師に岐阜聖徳学園大学教育学部教授の譲 西賢氏を迎え、「真宗門徒の証—今、宗祖に聞く」のテーマで講演を行った。

講師は、『私たちは、自分の思いと身の事実で判断をするものであり、思い通りに事実や結果が出ることを幸せと感じる。その幸せを得るための努力、行動、思いというのとは人間の本能である。そのことを、無量寿経には“厚己諍利”（自分がかわいく得ること）と人間の煩惱を顕された。厚己諍利がなければ、生きていけない私たちにはあるが、浄土真宗に出会い厚己諍利がくずれた時、始めて自分自身に目を向けることが出来る。その目を向けられたときは、どんな時だったかを話し合い法座



のテーマとして話し合いを行ってほしい。』と問題提起された。話し合い法座では、「連れ合いを亡くし、生活が一変し自分の思い通りにならない生活の際に気付かされた」「自己中心的な自分に気付き反省させられた」「結婚を機に自分だけがよければとの考えから、大切な人が出来、考えが変わった」等の意見が出され、最後に講師まとめ。

『聞法と言うのは、ただ聞いていくことではない。お聖教に“信順を因として疑謗を縁とす”とある。お聴聞することで納得できないこと、疑問に思うことが多々出てくる。それを持ちながら聴いていくことが大事である。そのような厚己諍利の私にも、如来の本願が届いてくださり、その光に照らされた時、自分自身の思いに振り回されている自分があったと気付くことが出来る。常に働いてくださる阿弥陀様がいらつしやることを感じ、お念仏を相続いたただくのが、総代の役割である』とまとめられた。

次年度も各ブロックにて総会研修会が開催され、Aブロックは後志組、Bブロックは上川北組、Cブロックは釧路組が主管のもと開催される。

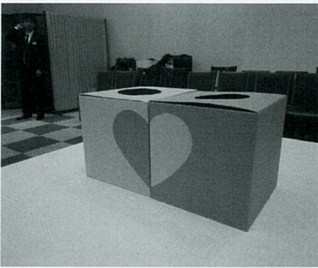
本願寺帯広別院親鸞聖人 750回大遠忌法要厳修

11月12日、本願寺帯広別院(中田周敬輪番)にて、即如門主ご親修(随行長山階照雄副総務)のもと、「本願寺帯広別院親鸞聖人750回大遠忌法要」が厳修されました。午前中には帰敬式が執り行われ、180名の受式者が法名を授与されました。午後から、「宗祖讃仰作法」にて法要がお勤まりになり、本願寺帯広別院の十勝組を始めとする崇教区域寺院(十勝組・釧路組・根室組・北見東組・北見西組)の住職・僧侶・門信徒が出勤・参拝され、今後の本願寺帯広別院の教化発展が感じられました。



北のBONDS(絆)の 婚活Party開催

11月17日(土) 青年僧侶協議会(横湯誓之会長) 主催の北のBONDS(絆)の婚活Partyが開催されました。女性一八名・男性一七名計三五名の参加があり、初めは表情の硬かった参加者達も、自己紹介タイムやゲームなどを行っていくうちに、徐々に緊張がほぐれて、会場中に笑い声が響き渡りました。
最終的には昨年を上回る四組のカップルが出来ました。今後の発展に期待したいです。



「全国真宗青年の集い」 IN北海道開催へ始動!!

十一月二十三日(金)に「全国真宗青年の集いIN北海道」の実行委員会準備会が北海道教区仏教青年連盟(会長上坂由香利)役員にて行われた。「全国真宗青年の集い」は二〇一四(平成二六)年開催予定で、北海道では実に二十八年ぶりに開催されます。会議では教務所長より「北海道の仏青は全国でも数少ないご門徒中心の会であり、その力によって新しい仏青の形を発信していただきたい。」とお言葉を頂き、教務所長を実行委員会会長、実行委員長を上野美香さん(札幌別院仏青)、事務局長を北橋誠さん(函館別院仏青)とし、各単体会全国大会に向けて、各々の活動を充実させていく事を確認しました。今年度二月九日(土)〜十日(日)開催の第1ブロック研修会(会場・後志組東林寺)や来年度開催予定の全道大会などを通じて、全国大会へとつなげていきたいと思っておりますので、ご協力をお願いいたします。

本派スカウトキャンポリー 実行部会開催

12月1日(土)に来年度開催の北海道教区本派スカウトキャンポリー実行部会が開催されました。この大会は、北海教区のスカウトクラブ登録団体による大会で、来年度9月14日(土)〜16日(月)に開催されることとなりました。会場は雨煙別小学校コカ・コーラ環境ハウス(夕張郡栗山町字雨煙別1-4)です。興味のある方は、教務所までご連絡下さい。



▼北海日誌

【報告】

9月

- 1日 第1連区仏青連絡協議会(～2日)
- 6日 第1連区ピハロー研修会(札幌)
- 8日 第1連区総代研修会(～9日)
- 11日 全国教誨師大会(～12日 神戸)
- 13日 第2回組長会、第2回教区実践委全体会
- 14日 公聴会
- 18日 千鳥ヶ淵戦没者追悼法要(東京)
- 25日 第3回実践運動常任委員会
- 全国寺族野球大会(～27日 京都)
- 布教大会(小樽別院)
- 28日 十勝組巡回
- 29日 教区スカウト指導者研修会(～30日 栗山)

10月

- 18日 上川北組「組巡回学習」(名寄市)
- 24日 第4回実践運動常任委員会
- 25日 Cブロック総代研修会(～26日 十勝川温泉)
- 27日 教区寺婦連盟第4回若寺婦研修会
- 30日 第2回布教使研修会
- 31日 Bブロック総代研修会(～1日 富良野)

11月

- 5日 実践運動部会
- 6日 選管委員長・事務長会議(本山)
- 8日 選管事務担当者会議
- 9日 仏婦常任委員会
- 10日 仏青役員会
- 11日 帯広別院親鸞聖人七百五十回大遠忌法要
- 13日 宗教者懇談会打合せ
- 14日 寺院振興対策委員会、第2回常備会
- 投票管理者説明会
- 札幌組「組巡回学習」(札幌別院)
- 27日 少年連盟理事会
- 28日 讃仰の集い(～30日 定山溪)
- 29日 胆振組「組巡回学習」(実成寺)
- 30日 講社ブロック講師研修会(～1日 洞爺湖)

12月

- 1日 スカウトクラブ役員会
道内スカウトキャンボリー実行委員会
第1連区仏壮連絡協議会

- 3日 後志組「組巡回学習」(札幌別院)
- 4日 根室組「組巡回学習」(浄真寺)
- 第3回保育連盟研修委員会
- 7日 第2回実践委員会部会
- 11日 第一北・南選挙区選挙会
- 12日 第3回臨時教区会
- 13日 教区法式研修会
- 17日 北見西組「組巡回学習」
- 18日 上川南組「組巡回学習」
- 19日 札幌矯正管区理事会
- 20日 キッズサンガアドバイザー会議
- 真宗教団連合研修委員会(大谷派教務所)
- 27日 第5回実践運動常任委員会
- 29日 年末年始事務休暇(1月6日迄)

【予定】

1月

- 7日 事務開始日
- 9日 布教団第3回役員会・実演布教研修会
- 19日 教区仏青全国大会第1回実行委員会
- 21日 「御同朋の社会をめざす運動」被災地現地視察(～23日)
- 25日 教区仏婦全道大会会場打合せ(～26日 ウトロ)
- 28日 空知南組「組巡回学習」
- 29日 連研のための研究会(札幌別院)
- 30日 教区仏婦常任委員被災地現地視察(～1日)

2月

- 9日 第一連区門徒推進員協議会(～10日 東北教区)
- 第一連区仏青連盟研修会(～10日 倶知安町)
- 14日 第30回宗教者懇談会
- 16日 仏壮連盟中央研修会(～17日、本山)
- 19日 日高組「組巡回学習」(静内町)
- 20日 空知北組「組巡回学習」(深川町)
- 21日 釧路組「組巡回学習」(釧路市)
- 22日 教区門徒推進員・連研履修者研修会(札幌)
- 28日 第24回温泉説法の集い(～1日 定山溪)

3月

- 5日 第一連区青年布教使研修会(～6日 国府別院)
- 6日 第3回常備会
- 26日 少年連盟リーダー研修会(～27日)
- 28日 第104回定期教区会
- 29日 仏教章習得のための学習会・研修会(～31日)

北海道教区常例布教日程(予定)

敬称略

札幌別院	別院	北見西	北見東	釧路根	十勝II	十勝I	日高	胆振	上川北	上川南3	上川南2	上川南1	空知北	空知南	後志	函館	札幌II	札幌I
赤川 浄友(東京教区根室恵光寺)	浅野 泰和(北海道教区根室本尊寺)	佐々木 望(北海道教区後志恵光寺)	石田 智秀(北海道教区十勝組妙法寺)	藤 順生(北海道教区留萌組西勝寺)	平石 博樹(山口教区北見組浄業寺)	黒田 頭城(北海道教区札幌組寛光寺)	倉上 学(東京教区世宗正法寺)	轡田 大充(北海道教区空知北組寛光寺)	源 明龍(熊本教区種山組光澤寺)	畑中 尚治(福井教区河田組明正寺)	増山 孝琢(富山教区新築組妙蓮寺)	齋藤 断城(山陰教区鹿野組善光寺)	佐々木 俊丸(北海道教区後志組恵光寺)	野田 成敏(北海道教区京極組光澤寺)	(組内)	畑中 尚治(福井教区河田組明正寺)	畑中 尚治(福井教区河田組明正寺)	三栗 得生(北海道教区空知北組寛光寺)
足利 礼子(四州教区手稲組明正寺)	齋藤 断城(山陰教区鹿野組善光寺)		岸 弘之(山口教区河内組月夜寺)	石田 智秀(北海道教区十勝組妙法寺)	吉田 俊宣(福井教区喜多組西光寺)	安徳 剛典(大塚教区西沼組善光寺)	轡田 大充(北海道教区空知北組寛光寺)	頓宮 彰玄(北海道教区十勝組寛光寺)	藤 順生(北海道教区留萌組西勝寺)	倉上 学(東京教区世宗正法寺)	藤部 英晶(山口教区大津組西勝寺)	吉川 恭(山陰教区手稲組永照寺)	西脇 昌史(北海道教区海部組善光寺)	生土 昌行(北海道教区京極組正法寺)	赤松 普宣(山陰教区赤穂組善光寺)	江口 覚亮(山口教区小月組大聖寺)	網干 善一郎(山陰教区高砂組善光寺)	
畑中 尚治(福井教区河田組明正寺)	高山 智史(安芸教区山本組善光寺)	佐々木 俊教(山陰教区山本組善光寺)	打本 厚史(北海道教区十勝組善光寺)	黒田 頭城(北海道教区札幌組寛光寺)	三栗 得生(北海道教区空知北組寛光寺)	朝枝 泰善(安芸教区山本組善光寺)	藤 順生(北海道教区留萌組西勝寺)	本多 龍典(山陰教区出石組善光寺)	野田 成敏(北海道教区京極組光澤寺)	齋藤 断城(山陰教区鹿野組善光寺)	石川 知全(備前教区吉備組正法寺)	徳川 眞英(山陰教区大由組善光寺)	徳川 眞英(山陰教区大由組善光寺)	加藤 真悟(大塚教区西沼組善光寺)	九條 孝義(滋賀教区中野組恵光寺)	芳瀧 智仁(北海道教区十勝組寛光寺)		
三栗 得生(北海道教区空知北組寛光寺)	那須 弘紹(熊本教区球磨組善光寺)	小原 静也(山陰教区三隅組妙蓮寺)	金龍 之哉(北海道教区空知北組寛光寺)	吉川 秀洋(北海道教区留萌組善光寺)	畑中 尚治(福井教区河田組明正寺)	源 明龍(熊本教区種山組光澤寺)	西脇 昌史(北海道教区海部組善光寺)	釋 宣寿(滋賀教区大津組長泉寺)	本多 龍典(山陰教区出石組善光寺)	生土 昌行(北海道教区京極組正法寺)	九條 孝義(滋賀教区中野組恵光寺)	吉田 俊宣(福井教区若狭組西光寺)	(未定)	渡邊 龍慶(北海道教区留萌組善光寺)	寺垣 信晃(北海道教区空知北組寛光寺)	吉村 隆真(熊本教区託麻組良寛寺)		

※変更になる場合がございますのでご了承下さいませ。

第3回臨時教区会開催される

十二月十二日開催の「第三回臨時教区会」にて、「門徒宗会議員選挙会」が実施されました。立候補者は一名であり、投票をせず、宗会議員に当選されました。地方選挙管理委員会委員長には、関藤龍静さん(空知北組廣徳寺前任職)が選定され、選挙会の進行されました。「門徒宗会議員選挙会」終了後、法規議案『北海道教区選出門徒宗会議員選挙施行規則』の区令廃止について』の審議がなされました。「北海道教区選出門徒宗会議員選挙施行規則」区令は、これまで宗派において詳細に定められていなかった門徒宗会議員選挙の施行細則を定めていきましたが、平成二十四年宗則第八十号「宗会議員選挙規程の一部を変更する宗則」並びに平成二十四年宗達第五十号「宗会議員選挙規程施行条例の一部を変更する宗達」が十一月五日に発布され、門徒宗会議員選挙の施行に関する詳細が定められました。それに伴い、北海道教区では、今後宗派に則った選挙を施行する為、区令を廃止することとなりました。法規議案につきましましては、満場一致で承認されましたこと、ご報告いたします。

宗会議員選挙のご報告

十二月十一日(火)開催の第一北選挙区並びに第一南選挙区の「選挙会」において、以下の方が僧侶宗会議員に当選されましたので、ご報告いたします。

第一北選挙区 (無投票)

丸田 教雄

【所属寺】

北見西組 光源寺

第一南選挙区 (無投票)

山階 照雄

【所属寺】

後志組 東林寺

十二月十二日(水)開催の「第三回臨時教区会」にて、「門徒宗会議員選挙会」が実施されました。立候補者は一名であったため、無投票で宗会議員に当選されました。

門徒宗会議員 (無投票)

牧田 宏

【所属寺】

胆振組 正光寺

災害支援金芳名録

- 胆振組 西教寺
- 上川南組 永楽寺
- 函館組 教願寺
- 上川南組 教覚寺
- 空知北組 西光寺
- 札幌組 大心寺
- 日高組 西光寺
- 空知南組 西法寺
- 根室組 染覚寺
- 留萌組 浄楽寺
- 全道仏壮大会
- 浄青僧全国大会
- 北見西組 西光寺
- 札幌組 光明寺
- 空知北組 仏教婦人会連盟
- 空知北組 圓覚寺
- 宗谷組 西光寺
- 札幌組 浄楽寺
- 留萌組 仏教壮年会連盟
- 空知北組 正信偈の会
- (本恵寺・法忍寺・浄徳寺)
- 北見東組 真宗寺
- 後志組 仏教壮年連絡協議会

(四月一日より十一月三十日分集計、納入順)
合計八四一、三九二円のご協力をいただきました。

ご協力ありがとうございました。今後も支援金を募集しておりますので、引き続き支援金のご協力をいただきますようお願い申し上げます。

